

Ω
OMEGA

Speedmaster

SKYWALKER

X-33

OPERATING INSTRUCTIONS

目次

はじめに	2
推奨事項	2
環境保護	3
OMEGA国際保証	4
仕様	6
操作方法	8
UTC(協定世界時)	10
タイムゾーン T1 および T2	12
アラーム	14
MET(ミッション経過時間)	16
PET(ステップ経過時間)	18
TIMER(カウントダウン)	20
クロノグラフ	22
ソヌリ	23
特殊機能	24
例 1	26
例 2	28
用語解説	32
トラブルシューティング	32
絵文字	33

はじめに

推奨事項

オメガ時計を永く使用するための注意事項は？

磁気：時計を強い磁気を発生するスピーカーや冷蔵庫の近くに置かないで下さい。

海水：時計を海中で使用した後は、必ず軟水で洗い流して下さい。

衝撃：物理的衝撃や急激な温度変化はお避け下さい。

リュウズ：時計内部に水が浸入するのを避けるために、必ずリュウズを通常の位置にセットして下さい。

クリーニング：金属製のブレスレット、ラバー・ストラップ、防水ケースは、石鹼水を付けた歯ブラシでクリーニングし、柔らかな布で拭いて下さい。

各種化学製品：溶剤、洗剤、香水、化粧品などがかかったり、直接接触するのを避けて下さい。ブレスレットやケース、パッキンを損傷する恐れがあります。

温度：極端な温度(60°C以上、0°C以下)や、極端な温度変化にさらさないで下さい。

防水性：時計の防水性は永久に保証されるものではありません。防水性の保持状態は、特にパッキンの経時変化やリュウズに誤って与えられた衝撃によって変わります。サービス規定にあるように、時計の防水性を一年に一度オメガの正規サービスセンターで検査することをお勧めします。

クロノグラフ・プッシュボタン：内部メカニズムへの浸水を避けるために、水中でクロノグラフのプッシュボタンを操作することは避けて下さい。

メンテナンス間隔はどの位が適正でしょうか？

全ての精密機器同様、時計が完璧に作動するには定期的なメンテナンスが必要です。製品や気候、お客様のご使用状況やお手入れ状態によって差がありますが、原則として、4年ないし5年毎に時計をメンテナンスに出すことをお勧めします。

メンテナンス・サービスやバッテリーの交換はどこに連絡すれば良いでしょうか？

万一お客様の時計に問題が生じた場合は、正規オメガ特約店またはオメガ指定サービスセンターにご相談いただければ、オメガ社の基準に従ったサービスメンテナンスを承ります。

動作に損害を与える可能性のある漏洩リスクを回避するため、消耗した電池もすぐに交換する必要があります。電池の種類は、お買い上げいただきました時計に付属している保証書に記載されています。

環境保護

 寿命がきたクォーツ時計の回収と取り扱いについて* この記号は本製品を家庭用廃棄物と共に処分してはいけないことを表示しています。本製品は、各地域の認定回収システムに返還される必要があります。この手続きを守ることにより、あなたは、環境及び人々の健康の保護に貢献することになります。物のリサイクルは、自然資源の保全に役立ちます。

* EU加盟国及びこれに対応する法律がある国に適用されます。

OMEGA国際保証

はじめに

OMEGA®時計については、お買い上げの日から24ヶ月間、本保証書に規定する条件により、OMEGA SA*が保証いたします。この国際保証OMEGA®は、お買い上げになったOMEGA®時計がお客様に引き渡された当時すでに存在していた材料上及び製造上の欠陥(以下単に「欠陥」という場合はかかる意味での欠陥をいいます)を対象とします。この保証書は、OMEGA®の正規特約店**が、本保証書に、日付その他の事項を漏れることなく正確に記入したうえ捺印をした場合に、はじめて有効となります(以下かかる条件を満たした保証書を「有効な保証書」といいます)。

お客様は、保証期間中は有効な保証書を提示することにより、全ての欠陥について無料で修理を受けることができます。お客様のOMEGA®時計を正常に使用できる状態に修理するのが不可能な場合は、OMEGA SA*が、同一ないし同種のOMEGA®時計との交換を保証いたします。交換後の時計に対する保証は、交換前の時計のお買い上げ日から24ヶ月間とします。

上記の製造者保証は、

- 販売店が行う保証とは別個独立の保証であり、販売店の保証については、販売店が一切の責任を負うことになっています。
- 販売店に対するお買い上げ主としての権利またはその他お買い上げ主が販売店に対して有するあらゆる法律上の権利に影響を及ぼすものではありません。

お客様のOMEGA®時計のメンテナンスにつきましては、OMEGA®カスタマーサービスが完璧に行います。万が一お客様の時計に問題が生じた場合は、正規OMEGA®特約店またはOMEGA®指定のサービスセンターにご相談いただければ、OMEGA SA*の基準にしたがったサービスをお約束いたします。

製造者の保証は以下の場合には適用されません。

- バッテリーの寿命
- 通常使用による摩耗や老朽化(例、クリスタル部分の擦過傷、皮革、テキスタイル、ラバーなどの非金属性ストラップ及びチェーンの変色・変質。)
- 異常な使用、乱用、不注意、過失、事故(打撃、陥没、衝突、ガラス破損等)、間違った使い方、OMEGA SA*が指示した使用方法を守らなかったことに起因する時計損傷
- OMEGA®時計の使用、機能不全、欠陥、不正確性などから派生するあらゆる間接的・派生的損害
- OMEGA®時計のバッテリー交換、アフターサービス、修理等について権限を与えられていない者に行われた場合またはOMEGA SA*の管理が及ばないところで時計の元の状態に変更を加えている場合

OMEGA SA*に対するその他の請求、例えば上記の保証に加えて損害賠償等の請求をされましても、お買い上げ主が製造者に対して法律上の権利を有している場合を除いて、それらの請求は保証の対象外となります。

* OMEGA SA

Rue Stämpfli 96, CH-2500 Bienne 4

** OMEGA®正規特約店 CE


OMEGA® 及び **OMEGA®** は登録商標です。

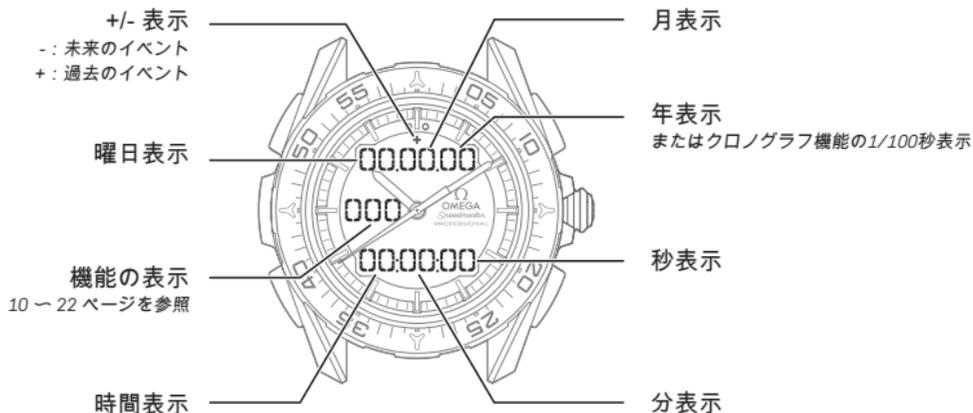
仕様 表示



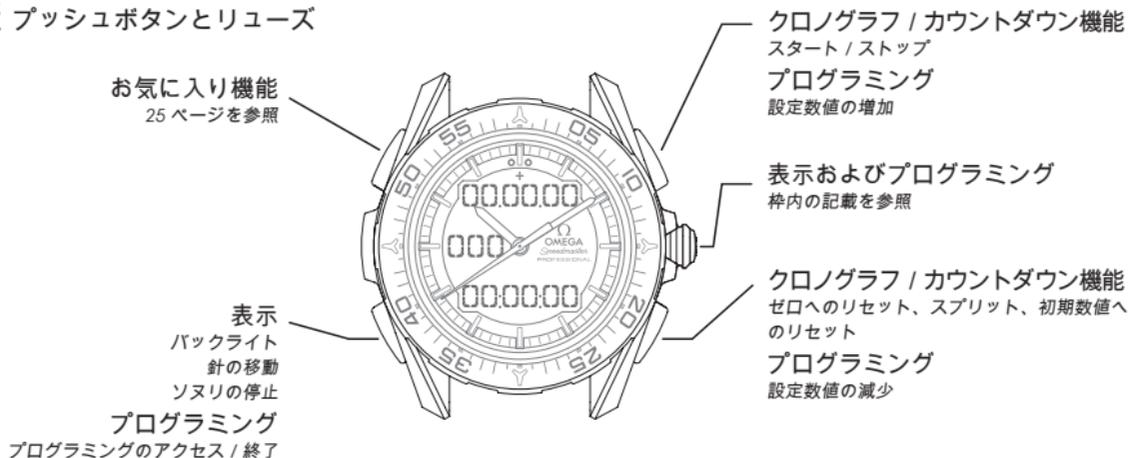
本取扱説明書にはSPEEDMASTER SKYWALKER(スピードマスター スカイウォーカー)X-33の現行の操作方法が記載されています。詳細については、ホームページ(www.omegawatches.com/skywalker)をご参照ください。

SPEEDMASTER SKYWALKER X-33は、宇宙飛行士がそのミッションのさまざまなステップを管理できるように、欧州宇宙機関(ESA)と協同して考案されました。

一般的な時計の機能に加え、SPEEDMASTER SKYWALKER X-33は、ミッションまたはプロジェクトのさまざまなステップをプログラミングすることのできる特殊機能を備えています。



仕様 プッシュボタンとリユーズ



一般事項	リユーズの操作方法	
<p>◀ 1回押す</p>	<p>◀ 表示 次の機能にアクセス プログラミング 次の設定にアクセス</p>	<p>◀ 表示 選択された機能の第2ページにアクセス</p>
<p>◀◀ 2回押す</p>	<p>◀◀ 表示 機能のグループにアクセス</p>	
<p>◀◀◀ 長く押す (約3秒)</p>		<p>▶◀◀◀ プログラミング 省電力モードの作動 (24 ページを参照)</p>

操作方法 一般事項

グループおよびページでのナビゲーション

機能は2つのグループに分かれています(次ページの図を参照)。

リユーズを1回押すと次の機能が表示されます。

リユーズを長く押すと機能の第2グループが表示されます。

特定の機能が2つのページに表示されます。リユーズを2回押すと使用可能な2ページが表示されます(次ページの図(1/2)を参照)。

10秒後またはリユーズを1回押すと1ページに戻ります。

プログラミングモード

プログラミングモードでは、針は表示が読み取りやすくなるように移動します。

20秒間操作しないとプログラミングモードは自動的に終了します。

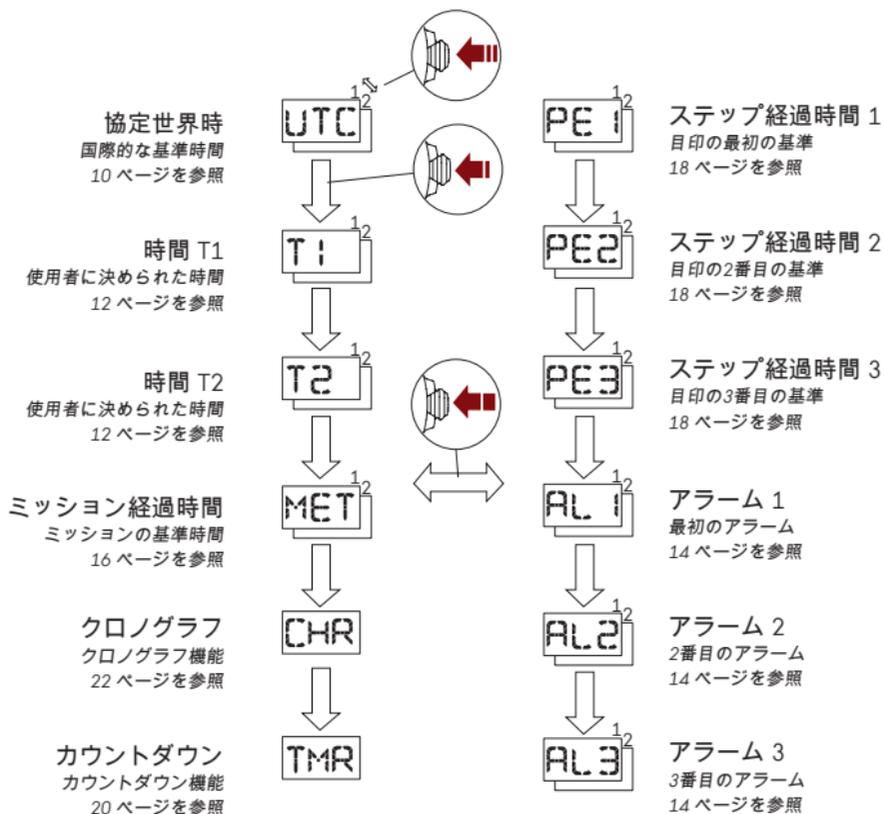
ソヌリガ鳴ると、表示が点滅し、関連機能が表示されます。

選択可能な機能では、 の選択が使用されると機能は作動解除され、プログラミングは消去されます。



時計の機能をよりよく理解するには：(26 および 28 ページに記載の例を参照してください)。

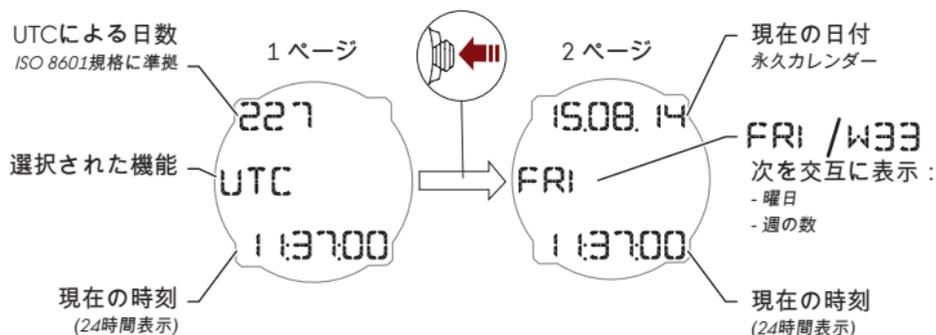
操作方法 機能のナビゲーション



UTC 表示

世界時間の表示(協定世界時)。

この時間は以前、GMTと呼ばれていたものですが、特定の地域ではまだその呼称で使用されています。



T1およびT2機能(12ページを参照)はUTCに関連した設定となっています。

UTC プログラミング



UTC 機能の選択



UTC は時計のすべての機能の基準時間となるので、まずはじめにプログラミングする必要があります。



プログラミングへのアクセス



増加 +

確定して次の設定へ進む⁽¹⁾

減少 -

⁽¹⁾ 同様に次の設定を実施する：

- 年、月、曜日
- 時、分、秒



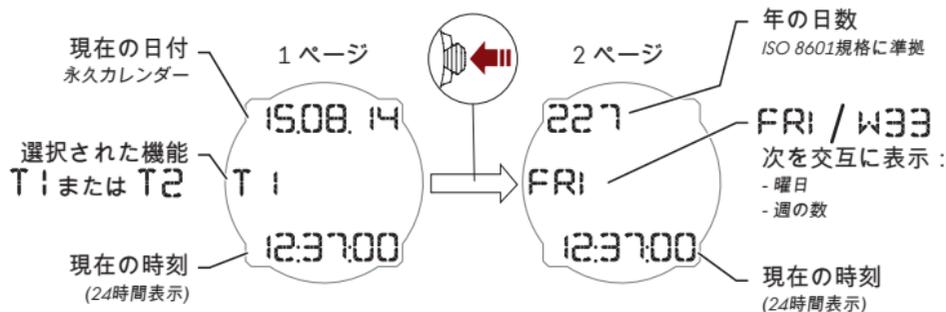
プログラミングの終了

タイムゾーン T1 および T2 表示

T1 はローカルタイム用に使用されます。針は常に T1 の時刻を表示します。

T2 はセカンドタイムゾーン用に使用されます。T2 の時刻は針では表示されません。

i T1 および T2 を設定するには、UTC との時差をプログラミングする必要があります。ゆえに UTC の時間は T1 および T2 をプログラミングする前に設定しておかなければなりません。



タイムゾーン T1 および T2 プログラミング



← T1 または T2 機能の選択



プログラミングにより希望の時間と UTC の間の時差を決定します。



プログラミングへのアクセス



プログラミング時、"+" または "-" のマークが表示上部に現れ、時差が UTC に対してプラスかマイナスかを示します。



増加 + (2)

← 確定して次の設定へ進む(1)

← 増加 - (2)

(1) 同様に次の設定を実施する：

- 時、分

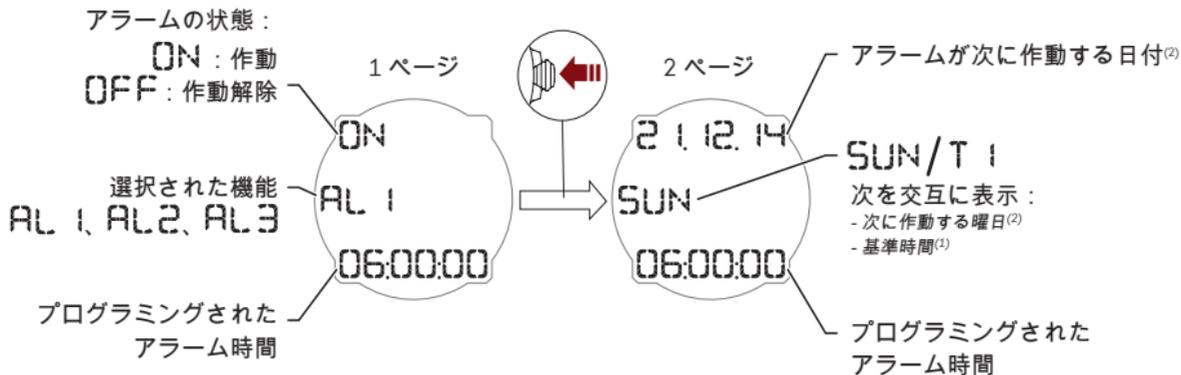
(2) 時間は1時間単位で、分は15分単位でプログラミングすることができます。



プログラミングの終了

アラーム 表示

次の3つのアラームが使用できます：AL 1、AL 2 および AL 3。すべてのアラームは同じ方法で機能します。

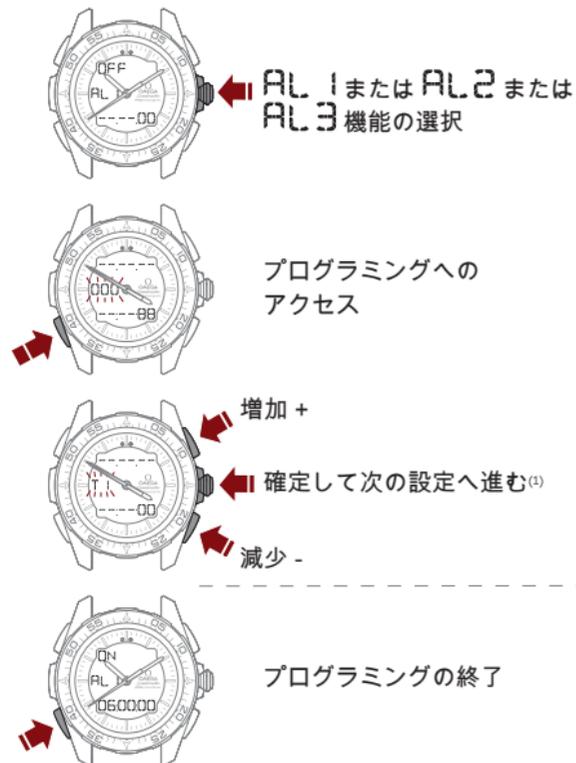


⁽¹⁾ 基準時間は T1、T2 または UTC から選択できます。

⁽²⁾ アラームは可能な限り設定通りに鳴ります。たとえば、日付や曜日を考慮せず、アラーム時間だけを設定した場合、アラームは毎日、決められた時間に鳴ります。

 23 ページのソヌリについての記載を参照してください。

アラームプログラミング



アラームの作動



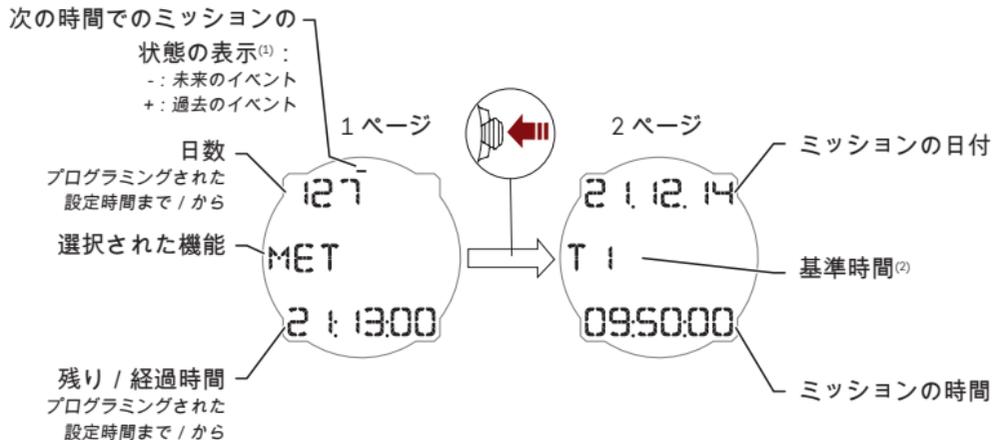
(1) 同様に次の設定を実施する：

- 基準時間 T1、T2、UTC
- 年、月、曜日
- 時、分、秒
- 曜日

MET 表示

「ミッション経過時間」

この機能によりミッション開始時からの残り時間(-)または経過時間(+)が表示されます(24 および 28 ページの例を参照)。



⁽¹⁾ ミッション開始時間が過ぎると、表示上部のマークが "+" になり、ミッションの時間が計測され続けます。

⁽²⁾ 基準時間は T1、T2 または UTC から選択できます。

 23 ページのソヌリについての記載を参照してください。

MET プログラミング



MET 機能の選択



"-" のマークはイベントが未来のものであることを示しています。"+" のマークはイベントが過去のものであることを示しています。



プログラミングへの
アクセス



MET 機能は999日23時間59分59秒のカウントまでプログラミングすることができます。



増加 +

確定して次の設定へ進む⁽¹⁾

減少 -

⁽¹⁾ 同様に次の設定を実施する：

- 基準時間 T1、T2、UTC
- 年、月、曜日
- 時、分、秒



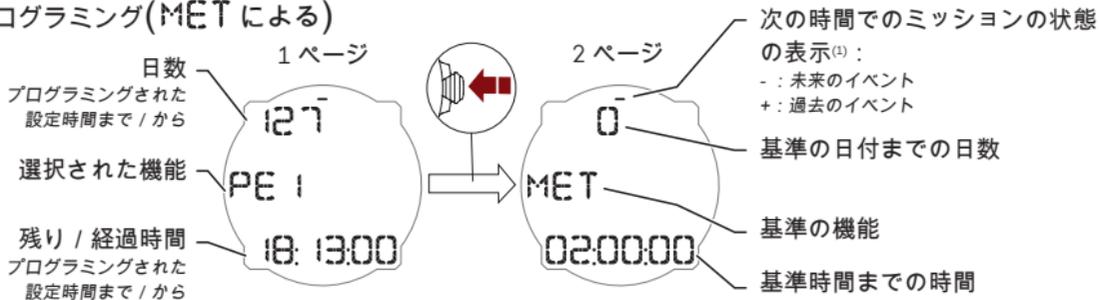
プログラミングの終了

PET 表示

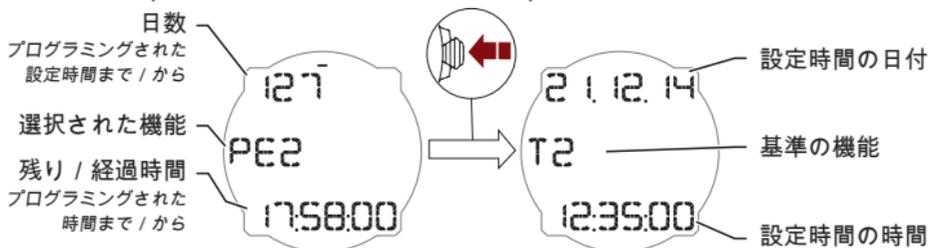
「ステップ経過時間」

3つのステップ、PE 1、PE2 および PE3 がプログラミングできます。特定の日数と時差による MET 機能に応じてプログラミングされる(相対プログラミング)か、T1、T2 または UTC を基準にして決められた日付と時間に応じてプログラミングされます(絶対プログラミング)。

相対プログラミング(MET による)



絶対プログラミング(T1、T2 または UTC による)



PET プログラミング



PE 1 または PE 2 または PE 3 機能の選択



プログラミングへのアクセス



増加 +

確定して次の設定へ進む⁽¹⁾

減少 -



プログラミングの終了



"-" のマークはイベントが未来のものであることを示しています。"+" のマークはイベントが過去のものであることを示しています。



PE 1、PE 2 および PE 3 機能は 999 日 23 時間 59 分 59 秒のカウントまでプログラミングすることができます。それ以上はプログラミングすることができません。



23 ページのソヌリについての記載を参照してください。

⁽¹⁾ 同様に次の設定を実施する：

・ 基準時間 T1、T2、UTC または MET

相対プログラミング (MET による)：

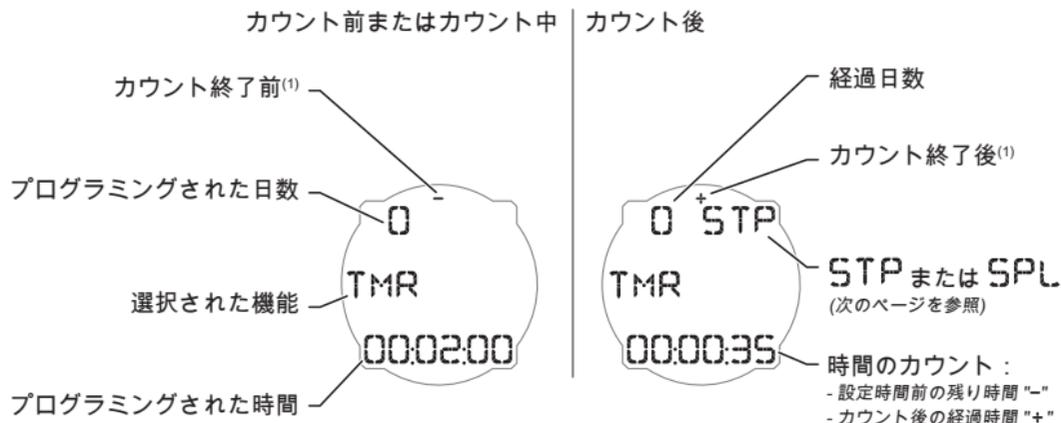
- ・ 日数
- ・ 時、分、秒数

絶対プログラミング (T1、T2 または UTC による)：

- ・ 年、月、曜日
- ・ 時、分、秒

カウントダウン 表示

カウントダウン機能によりあらかじめ設定した長さの時間がカウントでき、ゼロまで進行する経過時間が計測できます。



(1) カウント終了時、"+"のマークが "-"のマークの位置に現れ、カウントダウンのゼロの時点の時間が計測されます。



カウントダウンは99日99時間59分59.99秒のカウントまでプログラミングできます。時間はそれと同じ数値まで計測できます。



23ページのソヌリについての記載を参照してください。

カウントダウン

プログラミング



TMR 機能の選択



プログラミングへの
アクセス



増加 +

確定して次の設定へ進む

減少 -



プログラミングの終了

操作方法



時間のカウント / 計測の
スタート / ストップ(STP)



SPL : 表示時間のストップ /
再スタート
継続時間のカウント / 計測



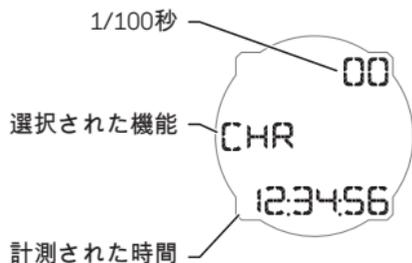
ゼロへのリセット
カウントダウンがストップすると
(STP)ゼロへのリセット後、
プログラミングされた最終時間が
表示されます



ソナリの停止

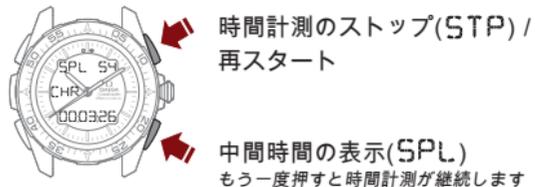
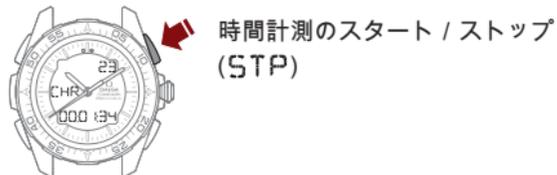
クロノグラフ

表示



99時間59分59.99秒後、クロノグラフは自動的に停止し、ゼロにリセットされます。

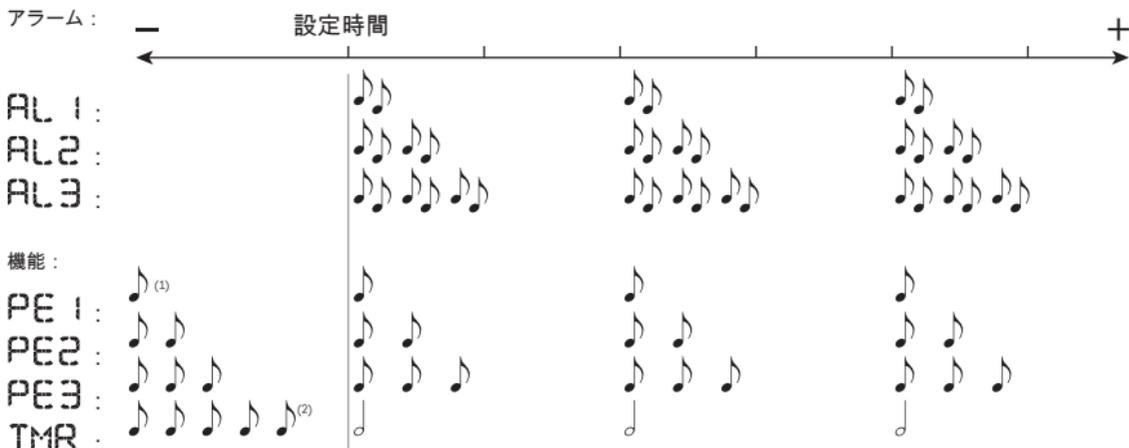
操作方法



ソナリ

機能と次の優先条件に応じて複数のソナリが使用されます：

シーケンス



(1) PET 機能の場合、設定時間前に3種類のソナリが1分間鳴ります。

(2) カウントダウンのソナリの前に5秒間音が鳴ります。

優先条件

- 2つのアラームまたは PET 機能が同時に鳴りようになっている場合は、番号の最も小さいものが鳴ります。
- アラームは PET とカウントダウンに優先します。
- カウントダウンは PET に優先します。

特殊機能

省電力モード

リューズを引き出すと省電力モードになります。

- 表示が消えます。
- 針が12時に移動します。
- 計測機能は持続しますが、ソヌリは作動解除されます。

リューズを押し戻すと省電力モードは終了します。



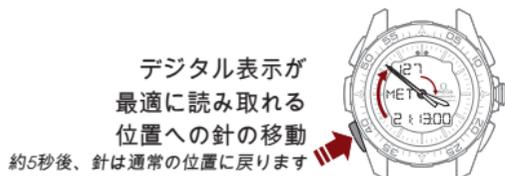
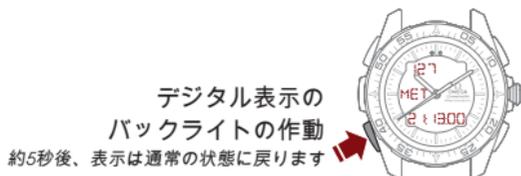
同期

時計を省電力モードにすると針の同期を行うことができます。針が正確に12:00:00を指していない場合は、次の手順を実施します：

- P4 を押して時針と分針を30秒進めます。
- P3 を押して時針と分針を1時間進めます。
- P1 を押して秒針を1秒進めます。

表示の照明

この機能により表示の読み取りが容易になります。



スリープモード

5日間何も操作しないと自動的にスリープモードになります。

- 表示が消えます。
- 針は表示を続けます T !。
- 計測機能は持続します。
- アラーム、タイマーおよび PET は通常通り鳴ります(使用者がソヌリを停止しないと時計は20秒後にスリープモードに戻ります)。

プッシュボタンのいずれかがリユーズを押すとスリープモードは終了します。

お気に入り機能

プッシュボタン P4 を押してよく使う機能に素早くアクセスすることができます。

プログラミング



機能の選択

操作方法



お気に入り機能と最後に表示された機能の切り替え



機能の登録



例 1 旅行の計画

SPEEDMASTER SKYWALKER X-33の諸機能は日常生活、職場、スポーツ時、旅行でのさまざまな場面で使用することができます。

クリスマス休暇を過ごすためにチューリッヒからニューヨークまで旅行するとします。

12月21日の9:50にチューリッヒを飛び立って12:35にニューヨークに到着する予定なので、アラーム機能を使ってアラーム時間を、PET 機能でチェックイン時間をプログラミングする(チェックイン時間までの時間を知るため)と便利です。

「ミッション」の主要設定時間はチューリッヒからの離陸時間なので、MET 機能はその時点でプログラミングされます。着陸のステップはニューヨークの時間に応じてプログラミングされます。

タイムゾーンの設定：

T1 : チューリッヒの時間 = UTC +1時間(12 ページを参照)

T2 : ニューヨークの時間 = UTC -5時間(12 ページを参照)

プログラミング：

MET : 基準 **T1** 2014年12月21日9:50(16 ページを参照)

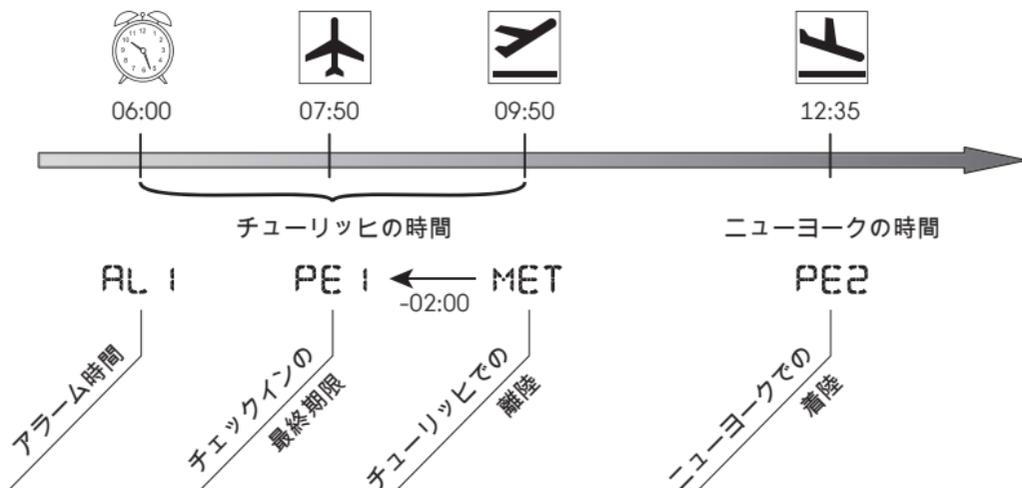
PE1 : 基準 **MET** -2時間(相対プログラミング、18 ページを参照)

PE2 : 基準 **T2** 2014年12月21日12:35(絶対プログラミング、18 ページを参照)

AL1 : 基準 **T1** 2014年12月21日6:00(14 ページを参照)

例 1 旅行の計画(続き)

旅行は次のステップと設定時間で構成されます:



例 2 宇宙でのミッション

SPEEDMASTER SKYWALKER X-33は、宇宙飛行士がそのミッションのさまざまなステップを管理できるように、欧州宇宙機関(ESA)と協同して考案されました。この時計のために考案されたアプリケーションの具体例を次に記します：

ミッションは次のさまざまなポイントで実現されます：

- 月でのミッションを実施する Ariane M ロケットのクールー(仏領ギアナ)からの離陸
- 地球の軌道に乗せる
- 月へ向かったの発射
- 月の軌道に乗せる
- 下降および着陸する宇宙船の切り離し
- 宇宙船外で宇宙服着用での月面の歩行
- 月の周囲で帰還を待機する宇宙船との接続のための再離陸
- 帰還する宇宙船へのアプローチとドッキング
- 地球へ向かったの発射
- クールー沖への突入

例 2 機能の定義

タイムゾーンの設定：

UTC : 基準のタイムゾーン。

T1 : 仏領ギアナのクーラーのタイムゾーン = UTC -3.

T2 : ケルンのタイムゾーン => UTC +2(宇宙飛行士の家族の住まい)

プログラミング可能な機能：

MET : ロケットの離陸時間。この機能はお気に入りとして定義され、ミッション時間中、宇宙飛行士がしたがうものとなります。

PE1 : 地球の軌道に乗せるエンジンの点火時間。エンジンの点火に先立つ特定のステップは正確に実施される必要があり、**PE1**により継続されます。

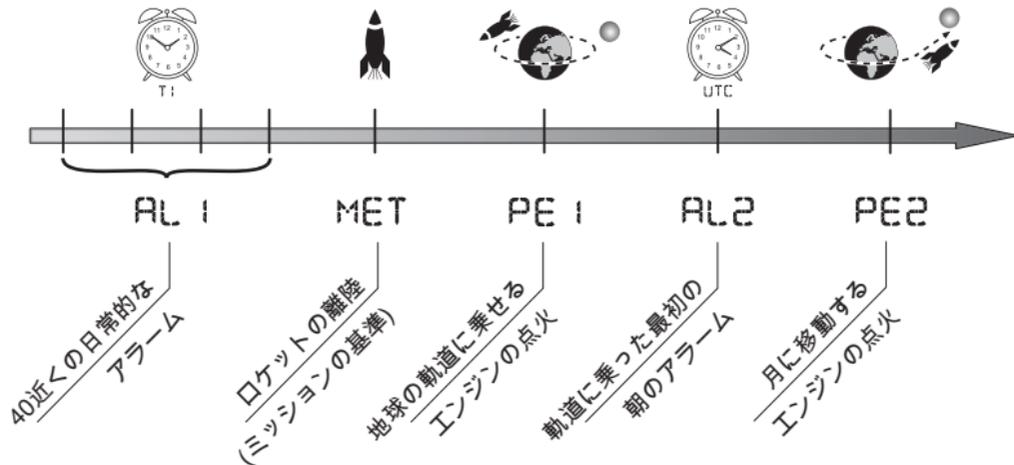
PE2 : 月に移動するエンジンの点火時間。エンジンの点火に先立つ特定のステップは正確に実施される必要があり、**PE2**により継続されます。

AL1 : ミッションにまつわる40近いステップの間中、機能する日常的なアラーム。

AL2 : 地球の軌道に乗った最初の朝の宇宙飛行士のアラーム。

i 次のパラメーターはロケット発射時の軌道に関するものなので、この例では月への発射までの機能しか説明されていません。

例 2 プログラミング



プログラミング :

AL 1 : 基準 T1

02:50:00の時点(14 ページを参照)

MET : 基準 UTC

2014年5月23日08:22:06の時点(16 ページを参照)

PE 1 : 基準 MET

+51分34秒(相対プログラミング、18 ページを参照)

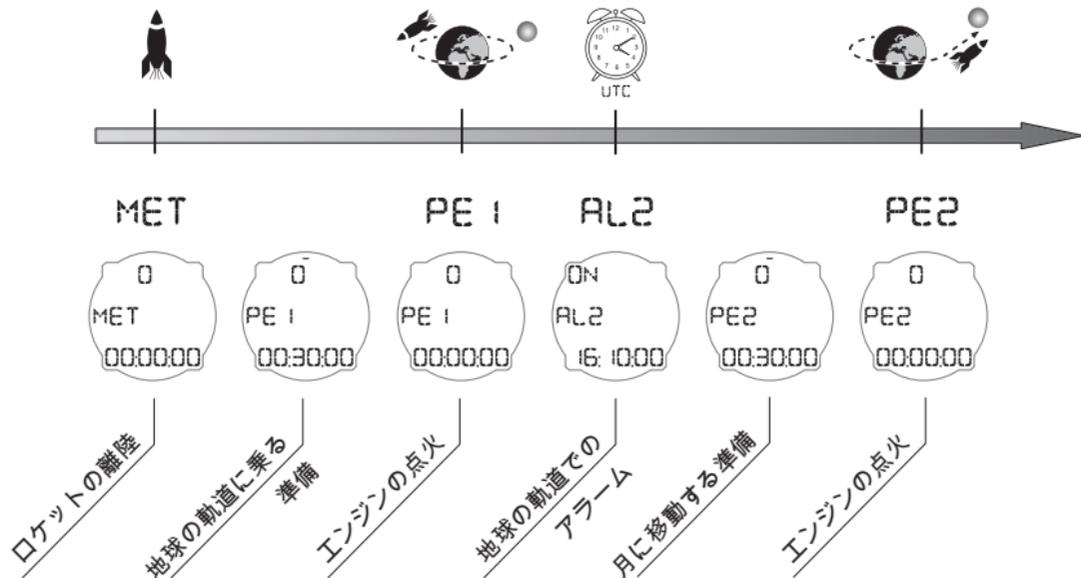
AL2 : 基準 UTC

2014年5月23日16:10:00の時点(14 ページを参照)

PE2 : 基準 MET

+1日21分52秒(相対プログラミング、18 ページを参照)

例 2 操作方法



用語解説

UTC	協定世界時。これは国際的な基準時間です。
MET	「ミッション経過時間」これはある時間の目盛りで決められたミッション開始時からの経過時間です(T1、T2、UTC)。または宇宙飛行の場合、ロケットの正確な離陸時間となります。
PET	「ステップ経過時間」これはイベントまでの残り時間(マイナス)または MET、T1、T2 または UTC に応じて決められたイベントからの経過時間(プラス)です。

トラブルシューティング

針が T1 の表示と同じ時刻を指していない：

- 針が同期していません。24 ページの同期の手順を参照してください。

秒針が5秒ごとにジャンプして進む：

- 電池が切れかけています(電池交換は正規OMEGA®特約店にご依頼ください)。

MET または PET のプログラミングでカウントが0のままである：

- プログラミングされた日付が999日23時間59分59秒以上になっています。

絵文字

-  曜日-日付
-  WEEE規制
-  ラトラパント(フライバック)
-  2年間の国際保証
-  クォーツ
-  電池切れ表示
-  タイムゾーン機能
-  セカンドタイムゾーン
-  永久カレンダー
-  温度補正クォーツムーブメント
-  3気圧(30メートル / 100フィート)防水
-  サファイアガラス
-  両面反射防止処理
-  二酸化マンガンリチウム電池

A list of service centers can be consulted on <http://omegawatches.com/csnetwork>



www.omegawatches.com

Printed in Switzerland © Omega SA 03/14 - 03090943M

The image features the Omega brand logo centered on a solid red background. The logo consists of a white Greek letter Omega symbol (Ω) positioned above the word "OMEGA" in a bold, white, sans-serif typeface.

Ω
OMEGA